



The smarter color reference

基本操作ガイド



datacolor

### ■はじめに

SpyderCheckr は、異なる光源および他のカメラとの関係における 自分のカメラのカラーの正確度と一貫性を向上させること及び RAW 現像処理で簡単に使用できるカメラキャリブレーションを提供す ることを目的としています。



### ■ Spydercheckr ターゲット

Spyder Checkr は、底面に標準の三脚マウントがあります。これに より、高さと角度を柔軟に調整してマウントできます。ただし、 ターゲットをテーブルまたは棚に置くことも可能です。安定した 所では立てて置く事も可能です。

### ■ SpyderCheckr を照明する

SpyderCheckr をマウントするか、安定した場所に配置しそれを 45度の角度で照明します。反射板や拡散板を使用せず、離れたと ころから単一光源でターゲットを照明するのが理想的です。この 照明方法により、ターゲットのすべての部分が同一の光量とカラ ーを持つことになり、ターゲットの幅による光量の落ち込みと色 変化を減少できます。



### ■ SpyderCheckr を撮影する



### ■ Spydercheckr ソフトウエアのインスト ールとアクティベーション

製品に同梱されている CD をご使用されている PC にインストール します。シリアル番号は CD のスリーブに記載されています。ソフ トウェアはウェブベースのアクティベーションプロセスを採用し ているので、インターネットに接続されているコンピューターか

datacolor \_\_\_\_\_

### ■ Lightroom を設定する

[メニュー]>[Lightroom]>[環境設定]から、外部編集タブ の追加外部エディターで[SpyderCheckr編集](SpyderCheckrの インストール時に含まれます)を選択するか、[アプリケーション ]>[選択]を表示して、Datacolor フォルダー(Mac の場合は アプリケーションフォルダー)にある SpyderCheckr フォルダー 内の SpyderCheckr アプリケーションを選択します。その他の追 加外部エディター設定を、[ファイル形式]>[Tiff]、[色空間]

- > [AdobeRGB] にそれぞれ設定することも必要です。
- プリセット: Spydercheckr 編集

ファイル形式:TIFF

カラースペース: AdobeRGB(1998)



### ■ターゲットショットを開く

Spydercheckr を撮影したターゲット画像をLightRoom または ACR で開きます

### ■ターゲットショットを調整する



● LightRoom 及び ACR で読み込んだ Spydercheckr ターゲット画像を各ソ フトの切り抜きツールを使ってトリ ミングします。切り抜く際には、パ ッチ領域の外側にある4つの白点の 位置で切り取ります。切り抜きツー ルの回転機能を利用してターゲット 画像を真っ直ぐに配置します。



● LightRoom または ACR でグレーバランス/ホワイトバランスを とるために 20% グレーパッチ(E2)をLightRoom のホワイトバラ ンス選択ツールでクリックします。ACR の場合は、ホワイトバラン スツールを使用します。



●次に、ホワイトパッチ(E1)の RGB 値またはパーセンテージ を見ます。露光量スライダを調整してホワイトパッチ(E1)が LightRoomの場合は RGB 値が約 90%、ACR の場合は RGB が約 230 と なる様に調整します。





# <u>datacolor</u> ●次にブラック(E6)をチェックします。黒レベルスライダーを調整してブラックの値をLightRoomの場合は約4%、ACRの場合はRGB10、10、10に設定します。



### ■ターゲットを保存する

()+ (●

Lightroomの場合は、メニューの[写真]> [他のツールで編集] > [SpyderCheckr で編集] を選択することで、トリミングされた 画像のエクスポートを実行できます。ACR を使用している場合は、 画像をデスクトップまたは他の適当な場所に TIFF ファイルとして 保存します。

3850

4





### ■ SpyderCheckr アプリケーションを起動 する

SpyderCheckr は、Lightroom で正しく設定されていれば自動的 に起動し、SpyderCheckr にすでにインポートされているターゲッ ト画像とともに開きます。ホワイトバランスと露光調整をエクス ポートファイルに含めるためには、[Lightroom プリセットでコピ ーを編集]を選択してください。ACRの場合は、SpyderCheckr ア プリケーションを起動し、次に保存したターゲットファイルを SpyderCheckr にドラッグしてインポートします (メニューから [ 開く] コマンドを使用することもできます)。

### ■ターゲットショットを処理する



#### datacolor

適切に撮影しトリミングした場合は、正方形はターゲットショッ トのパッチ内に正しく配置されているはずです。そうでない場合 は、画像領域の任意のエッジをドラッグして領域を調整すること ができます。正方形内部のカラーは、パッチのカラーよりも少し 彩度が低いものとなります。パッチとサンプルカラーが異なった 色になっている場合は、ターゲット画像が上下逆ではないか、確 認してください。

ターゲット画像の位置と向きを確認したら、Lightroomの場合は Lightroomに保存を選択、AdobeCameraRawの場合はACRに保存を 選択し[キャリブレーションを保存] ボタンをクリックします。 キャリブレーション修正が計算され新しいキャリブレーションプ リセットに名前を付けるよう指示が表示されます。名前にはカメ ラの名前や使用した光源やレンズなどのデータも含めるとよいか もしれません。

### ■ SpyderCheckr のモード

SpyderCheckr にはモード選択のための3つのポップダウンリスト があります。



測色:測色モードは、最もリテラルな結果を提供します。アート ワークや製品カラーを再現したいときに最適なモードです

彩度: 彩度モードは、多くのタイプの画像に対して一般的に心地 よい結果を提供します。

ポートレート:ポートレートの写真処理を簡単にするために、肌 色の彩度を低減します。

これらのモードの効果は微妙なもので、画像によっては違いが分からない場合があります。



Lightroom または ACR を再起動し(Lightroom または ACR を一旦 終了し再起動してからでないとキャリブレーションデータは使用 できません)、同じカメラまたは同じカメラとレンズの組み合わ せの画像ショットを選択します。Lightroomの現像モードのユー ザープリセットリストから、または CameraRaw ダイアログボック スで CameraRaw 設定メニュー:: (右側にあるポップダウンメニ ュー)の[プリセットの適用]から、プリセットを適用します。 キャリブレーションデータを適用した結果の変化は微妙です。カ メラのネイティブカラーが良ければ良いほど、キャリブレーショ ンの効果は少なくなります。さまざまなタイプの多くの画像に対 して結果を検討し、満足なものが得られたら、Lightroom で 複 数の画像を選択しこのプリセットを選択することでただちに画像 に適用できます。ACR の場合、複数画像への設定の適用は Adobe Bridge で行います。

<u>datacolor</u>

### ■キャリブレーションプリセットを調整 する



SpyderCheckr のカラーキャリブレーション調整は、Lightroom または ACR の色相、彩度、明るさに表示されます。これにより、ユ ーザーはキャリブレーションに対して調整を簡単に行ことができます。

## datacolor \_\_\_\_\_